

令和3年度事業報告書
2021年7月1日から2022年6月30日まで

法人の名称 特定非営利活動法人サードプレイス

1 事業の成果

「地区センカフェに子どもたちが戻ってきた」

新型コロナウイルスの感染拡大以降、来所人数が著しく減っていた居場所に、子どもたちの笑顔と笑い声が戻ってきた。遊びに来てくれる子どもたちの1回あたりの人数は、感染拡大前に近い人数になっている。まだまだ学校や日常生活の中ではいろいろな制約はあるものの、部活の休みが多くなった中学生が顔を見せに来てくれたり、最近どうしてるかなと1年ぶり、2年ぶりに遊びに来てくれる子どもたちの数が増えていることが今年度の傾向として見ることができる。『場が在り続けること』で帰ってこられる場所という居場所の意義を感じている。

2 事業内容

① 子どもの発達における総合支援事業

ア 子どもたちの居場所づくり実践

子どもたちの居場所づくりの取り組みを実施。

- ・公共施設での子どもたちの居場所づくり：地区センカフェ

「行けば誰かいる」という子どもたちにとっての待ち合わせ場所であり、頼れる大人に出会える場づくりの実施。

日 時：毎週火曜日 15:00~17:00 オープンスペース
火曜不定期 18:00~19:00 学習支援

場 所：横浜市寺尾地区センター

開催回数：オープンスペース 48回

学習支援 9回

参加者数：オープンスペース 延べ823人（内子ども737人・大人86人）

学習支援 延べ18人・学習支援ボランティア延べ18人

※鶴見区青少年の居場所づくり活動補助金を受け実施

- ・公立中学校内での放課後学習支援

中学校の校舎内（図書室等）での放課後学習会の実施。生徒一人ひとりに寄り添った個別対応により、学習の困り事のみならず生活面での相談にも対応。寺尾中学校「てらお地域学校協働本部」の学びづくり部 放課後学び場事業として実施。

日 時：木曜日（月2回） 主に16:00~17:30

場 所：横浜市立寺尾中学校

開催回数：18回 感染対策の対応で3回中止

参加者数：生徒 延べ61人・学習支援ボランティア 延べ92人

学習支援コーディネーター 1名配置

- ・高校生のための居場所「つみれ自習室」

NPO法人ABCジャパン主催事業に連携実施

放課後の高校生の居場所として実施。勉強の目的だけでなく、大学生スタッフに進路相談や大学生活を聞いたり、メイクなどの話をしたりと参加者それぞれが目的をもって参加し



ている。身近にロールモデルがいることで、進学や将来のイメージに役立っている。

日 時：木曜日 16:00~19:00

場 所：鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe

開催回数：48回

参加者数：高校生 延べ350人 スタッフ：201名 ボランティア：27名

イ こども家庭支援センターつるみらいの運営

こども家庭支援センターは、児童福祉法に基づき設置された児童福祉施設。地域の子育て家庭の皆さんからの相談に対して、専門的な支援や援助をおこなう。令和2年4月1日に開所。横浜市鶴見区にお住いの方が利用。スタッフは、社会福祉士、臨床心理士、保育士など雇用し運営。

相談対応件数：延べ2,098件（前年度実績415件）

一時預かり支援件数：115件 延べ134日

ウ 講演・啓発事業

・児童虐待防止月間ツルミ・オレンジデイズ2021共同企画

日 時：令和3年11月14日（日）13:30~15:30

場 所：230cafe

参加者：18名（内オンライン8名）

登壇者：飛田桂弁護士（バイアヴェニュー法律事務所

・特例認定NPO法人子ども支援センターつなぐ）

ブローハン聡（一般社団法人コンパスナビ）

・登壇実績

法政大学大学院ゲストスピーカー

エ 子どもの体感・体験・学習イベント

・つるみ子育て個育ちフォーラムへの参加

子どもたちが健やかに、心豊かに育つ地域づくりを進めていくことを目的に、鶴見区内で子育て支援や青少年育成に携わる団体や区民有志が一堂に会すイベント「つるみ子育て個育ちフォーラム」の運営委員、企画委員として協力。

オ 委託事業、認可事業の運営申請準備

実績なし。

② 地域資源の調査・研究・開発事業

ア 鶴見区子ども資源調査・研究・開発

実績なし

イ 鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe の運営

令和2年4月1日に鶴見の多文化・多世代の共創拠点「230cafe」をオープン。拠点運営やランチ営業などを「つみれプロジェクト実行委員会」の協力により実施。

ランチ営業日数：137日（前年度実績149日）

貸しスペース登録団体数：65 団体（前年度実績 39 団体）

貸しスペース利用回数：447 回（前年度実績 119 回）

230cafe 延べ利用者数：2,950 名（前年度実績 2,448 名）

230cafe 主催企画：おなかま食堂/スペース・小箱利用者交流会/ゆるゆるお話し会/えほん
とともだち

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置への対応：営業時間（利用可能時間）を 20 時まで
に短縮

ウ 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）

地域のご高齢者の外出の機会づくり、孤立防止のための居場所づくりを目的に介護予防・
日常生活支援総合事業（総合事業サービス B 通所型）を実施。横浜市通所型支援：リハビリ
体操、ピラティス、映像を見ながら懐古談など

日 時：木曜日 10：00～13：30

場 所：鶴見の多文化・多世代の共創拠点 230cafe

開催回数：36 回

参加者数：189 人（内要支援者数：30 人）

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置に対応し、感染対策のため回数と定員を減らし実施。

エ 鶴見区にお住いのひとり親世帯向け食料品提供

コロナ禍により生活に影響を受けているひとり親世帯に対し、寄付で得られる食料品や購
入して集めた食料品の配達を継続して実施。配達の際に、食料品以外の困り事の聞き取り、
アセスメント。継続相談が必要な家庭を児童家庭支援センターにつなぎ、定期面談をおこ
ないながらフォローを続けている。

実施回数：9 回

配達世帯：延べ 55 世帯（174 人）